

『インターネット白書2006』記者発表会

2006年6月7日

株式会社インプレスR&D

『インターネット白書2006』構成

巻頭カラー

第1部 日本のインターネット普及動向

第2部 個人利用動向

第3部 企業利用動向

第4部 通信事業者動向

第5部 ネットビジネス事業者動向

第6部 社会動向

第7部 海外のインターネット普及動向

第8部 インターネット基本指標

第9部 技術動向

付録

「第1部 日本のインターネット普及動向」

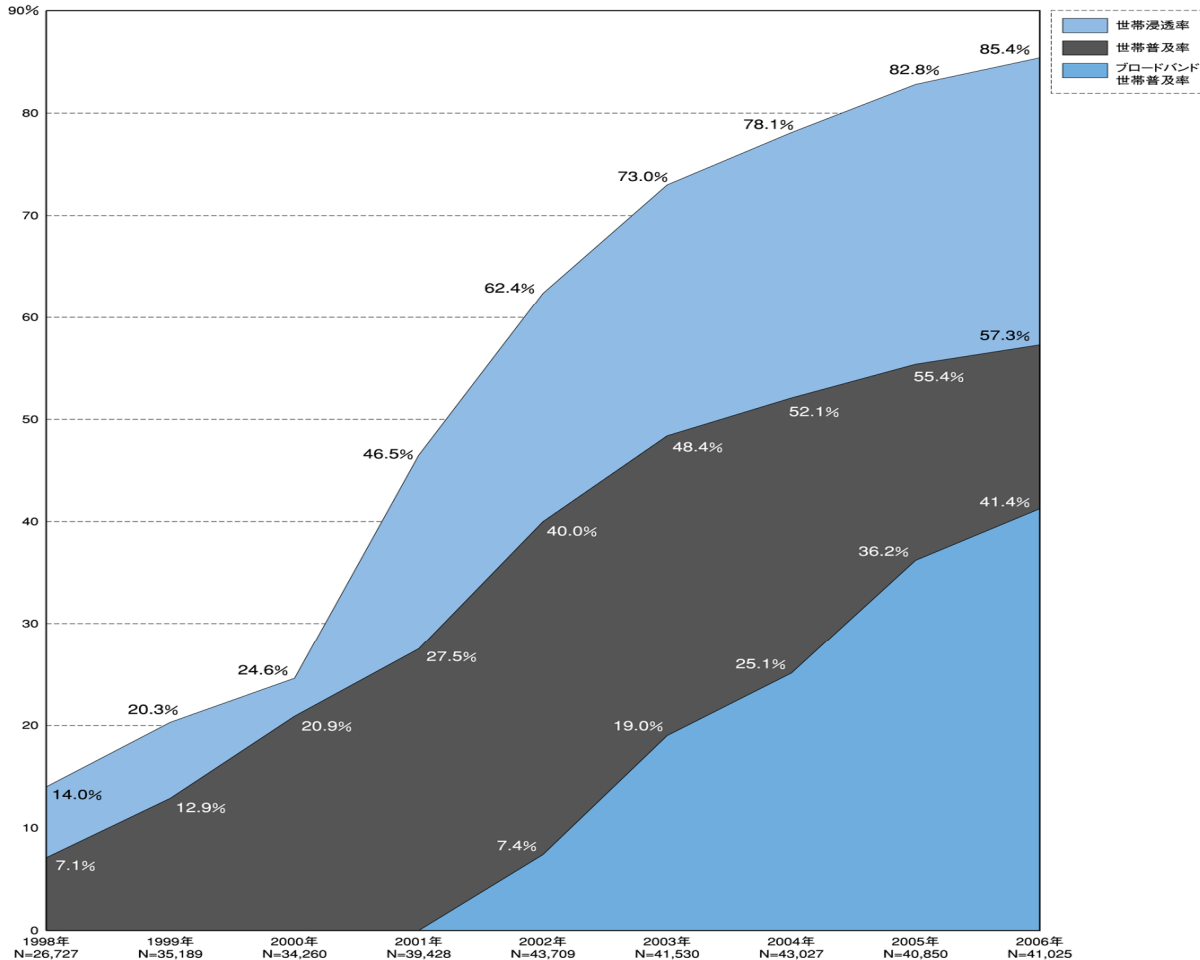
調査方法

調査方法	電話調査 (RDD:ランダム・ディジット・ダイヤリング)
調査対象	一般世帯(回答者は16歳以上の男女)
調査期間	2006年2月
対象地域	全国26都市およびその近郊
サンプリング	95,809世帯(RDD採用のエリアサンプリング)
総回答数	44,843サンプル
有効回答数	41,025サンプル
調査主体	アクセスメディア インターナショナル株式会社

(注) インターネットの世帯内利用者としては対象を3歳以上の男女とする。

世帯浸透率は85.4%、世帯普及率は57.3% ブロードバンド世帯普及率は41.4%

資料1-1-5 インターネット世帯浸透率と世帯普及率、ブロードバンド世帯普及率の推移 [1998年-2006年]



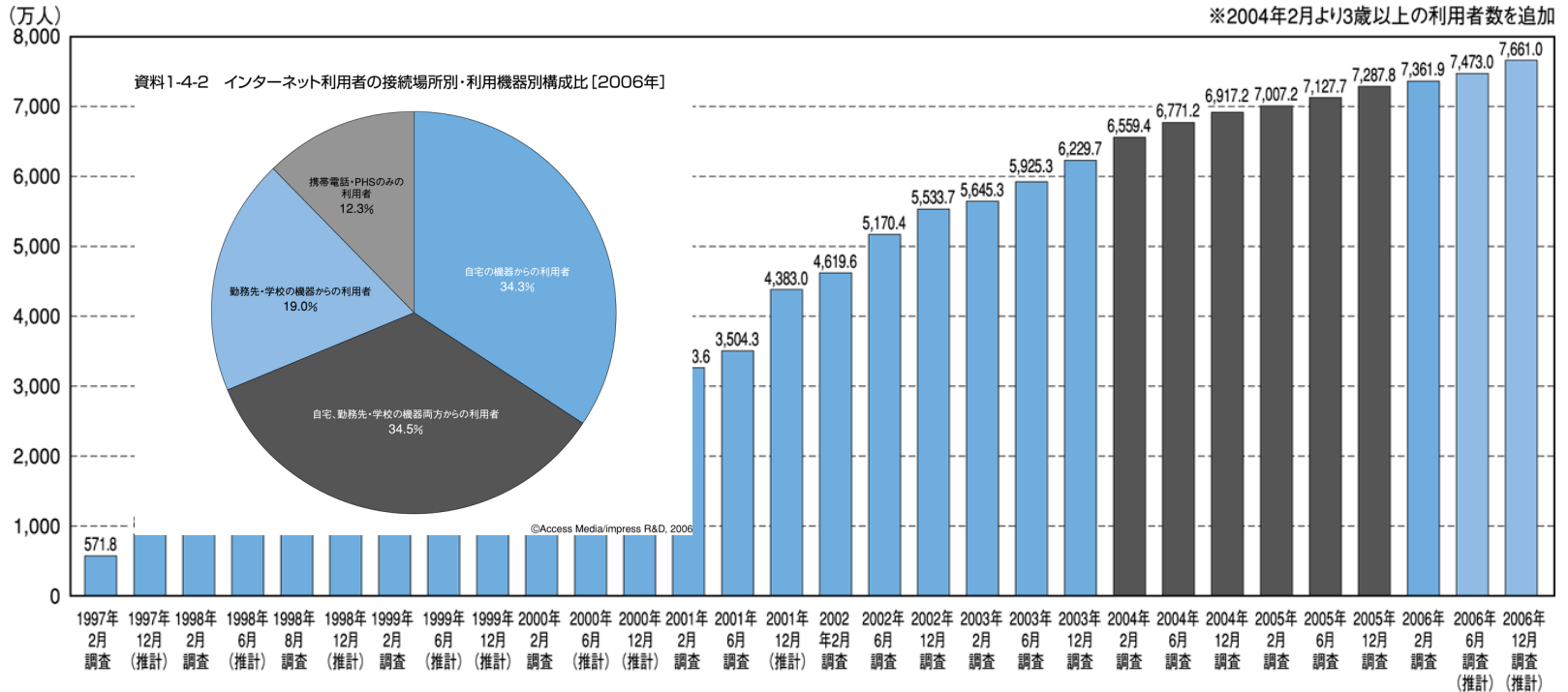
「インターネット世帯浸透率」は勤務先/学校から、携帯電話/PHSからも含め、何らかの形でインターネットを利用している人がいる世帯。

「インターネット世帯普及率」は、自宅の機器（主にPC、ゲーム機など別の機器もわずかに含まれる）から接続している比率。

「ブロードバンド世帯普及率」は、44.1%で、世帯普及率に年々近づいている。インターネット利用世帯の中でのブロードバンド構成比は初めて7割を超えた。昨年2005年は65.2%、2004年は48.1%だった。

インターネット利用人口は 7,361万9千人 前年比105.1%

資料1-4-1 日本国内のインターネット利用者数推移 [1997年-2006年]

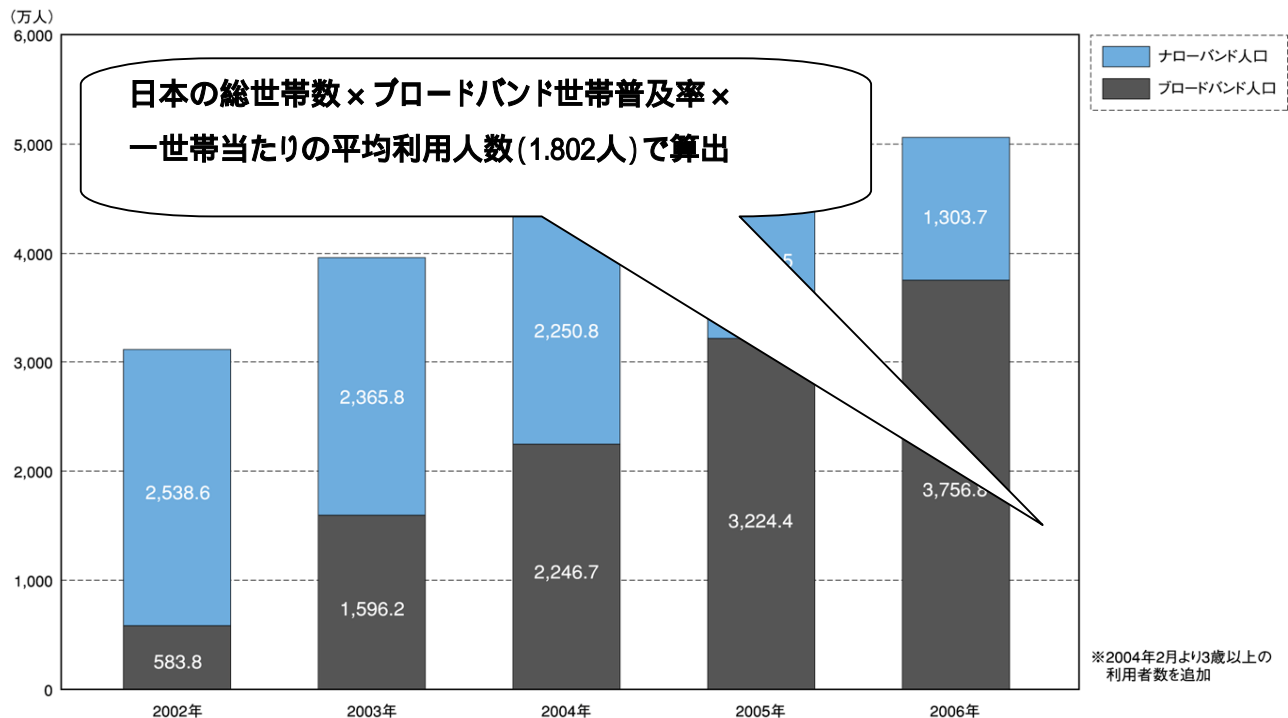


©Access Media/impress R&D, 2006

内訳は、自宅の機器からの利用者が2,522.6万、自宅の機器と学校や勤務先の機器からの併用が2,537.6万、勤務先・学校からは1,398.0万、携帯電話/PHSのみの利用者は903.8万人。2005年以降、携帯/PHSだけに依存する人は減少しており、利用場所・利用機器は複数併用型が主流となっている。

家庭のブロードバンド人口は3,756万8千人 前年比116.5%

資料1-4-4 ブロードバンドとナローバンドの利用者数推移 [2002年-2006年]



©Access Media/impress R&D, 2006

昨年2005年の3,224万4千人から532万4千人の増加。